

みどり森インタープリターの“四方山（よもやま）話”

さいたま緑の森博物館（通称：みどり森）のインタープリターによる四方山話のコーナー。
みどり森で起こった出来事や面白いこと、ビックリしたことなどを、各号スタッフが持ち回りでお届けします。

数字でいろいろ考えた

今号の担当：長谷川 勝（まちゃ）

48号（2023年1月号）以来、久しぶりの登場のまちゃです。

今回のニュースレターは55号ですが、毎回、ネタ切れの恐怖を感じながら55号も制作してきたことに驚きました。

ちなみに『55』という数字で思いつくことは何かありますか？

私は、元ヤンキースの松井秀喜選手の背番号が思い浮かびました。他のスタッフは、コント55号と言っていました。名前を知っていても世代が被っていないので詳しくは分かりません。

ついでに「55」という数字に関連したものをインターネットで検索すると・・・

「55周年」を迎えた「リカちゃん」、「西武秩父線開通」、「ヤクルト球団設立」、「サザエさん放送開始」などなど、たくさんの「55」がありました。

日常生活の中には様々な数字がありますが、自然にまつわる数字といえば、今年はアメリカで素数ゼミが大量に発生したというニュースを目にしました。13年ゼミと17年ゼミが同時に発生する221年に一度の年だったそうです。そんな稀に起きる現象を生きている間に体験できた人は貴重な体験といえるでしょう。うるさかったかもしれませんが・・・

そして来年2025年は私たちにとって『30』という数字がキーワードの年になります。

なぜでしょう？

なananんと！みどり森は、1995年7月1日に開館し、来年『30周年』を迎えます。

30年という年月で、開館当初よりも森の木々は大きく育ち、予測していなかったナラ枯れも発生するなど、多くの変化がありました。30年前に生まれた人も成人して、すでに家族を持たれている方もいることを考えると感慨深いものがあります。

そんな月日の流れを実感しながら、何か30周年記念イベントを実施できればと思っていますのでどうぞ楽しみに！

さいたま緑の森博物館 利用案内



狭山丘陵の北西部に位置する、里山の自然そのものを展示とした野外博物館です。

HP <https://saitama-midorinomori.jp/>
※QRコードから開けます

開館時間 9:00～17:00

休館日 月曜日（祝日の場合は開館し翌日が休館）
祝日の翌日、年末年始

所在地 埼玉県入間市宮寺889-1

電話・FAX 04-2934-4396

アクセス 公共交通機関をご利用の場合、
小手指駅南口より西武バス「宮寺西」行き
または「金子駅入口」行き乗車、約25分
「荻原バス停」下車、徒歩約10分

※駐車スペースに限りがありますの電車・バスをご利用ください。



緑の森博物館の 利用ルール

緑の森博物館では、以下の8つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

- ① 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生きものをむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- ② 他から持ち込んだ動植物（外来種）を放さないでください。
- ③ 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- ④ 犬などのペットを放さないでください。（フンの後始末もしっかりと行いましょう）
- ⑤ 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- ⑥ バーベキューや花火など火を使わないでください。
- ⑦ ゴミは持ち帰りましょう。
- ⑧ ラジコンやドローンは使わないでください。

2024年10月発行 さいたま緑の森博物館 指定管理者：株式会社自然教育研究センター

さいたま緑の森博物館ニュースレターは、みどり森の様々な情報を年4回お届けいたします

さいたま緑の森博物館
ニュースレター
Saitama Midori-no-mori Nature Park

はくぶつかんだより
No. 55

最近のみどり森では、スタッフから「キツネを見たよ」とか、「外にイタチがいた」と哺乳類の確認報告を受ける機会が増えています。とはいえ、動物園ではないのでずっと同じ所にいてくれるわけではなく、報告を受けた後に行っても時すでに遅し。

今号の特集面は、そんな哺乳類の痕跡（フィールドサイン）について紹介します。直接出会えなくても道端に落ちているフンや残された足跡など、痕跡を見つけて見分けられるようになると、動物たちの存在が感じられて散策が一層楽しくなりますよ。



イベント情報（10～1月）

電話（04-2934-4396）で博物館までご連絡ください。
また、当館ホームページからもお申込みできます。

イベント名	実施日	対象、定員等	概要	申込期間
緑の森フェスタ 2024	11/16（土） 17（日） 10:00～15:30	対象：どなたでも 入場料：無料 ※一部イベントに事前申込み・定員・参加費あり	年に1度のお祭り！自然体験コーナーや地域の青空マーケット、ツリークライミングなど、普段はできないことを満喫しましょう。期間中は狭山丘陵をテーマにした作品展も実施します。詳細は、HPやチラシをご覧ください。	
みどり森ミニトーク	12/8（日） 1/5（日） 10:00～13:00 ※各回20分程度	対象：どなたでも 定員：各回15名（先着） 参加費：無料	みどり森の自然や生きもの等について、実物や写真を使ってお話しします。	当日受付 直接窓口まで
里山ようちえん【カエル組】	12/1（日） 10:00～13:30	対象：R6年4/1時点で満4・5歳児と親御さん 定員：20名（抽選）	参加費：親子2名で1,000円 1名追加ごと500円	11/1（金） ～14（木）
里山ようちえん【オタマ組】	12/7（土） 10:00～13:30	対象：R6年4/1時点で満2・3歳児と親御さん 定員：15名（抽選）	子どもの成長段階や好奇心に合わせて、親子で里山の自然の中で遊びます。お弁当と飲み物持参。お菓子付き。	11/7（木） ～20（水）
里山体験教室「落ち葉かきとごぼうびの焼き芋作り」	①12/14（土） ②12/22（日） 10:00～12:30	対象：小学生以上（小学生は保護者と参加） 定員：各回20名（抽選） 参加費：300円（保険代・材料代）	雑木林の管理作業の1つ、落ち葉かきを体験します。落ち葉を集めて堆肥箱いっぱいになったら、ごぼうびの焼き芋を焼いて食べましょう。※各回同じ内容を実施。どちらか一方にお申込みください。	11/14（木） ～27（水）
里山文化講座「お正月のしめ縄かざり作り」	12/21（土） ①10:00～12:00 ②13:30～15:30	対象：小学生以上（小学生は保護者と参加） 定員：各回20名（抽選） 参加費：600円（一制作） ※付き添いのみは1人100円	当館の田んぼで採れた稲わらを使ってしめ縄を作りましょう。お正月準備に込められた願いなどについても楽しく学びます。※各回同じ内容を実施。どちらか一方にお申込みください。	11/21（木） ～12/4（水）
みどり森お助け隊「森の整備のお助け！with ボランティア会」	1/19（日） 10:00～12:00	対象：小学生以上（小学生は保護者と参加） 定員：20名（先着順） 参加費：無料	柵の補修や伐採などの森の管理は人手も時間も必要です。普段から活動しているボランティアさんと一緒にボランティア体験してみませんか？	12/19（木）～

探してみよう！フィールドサイン

フィールドサインとは

生きものが活動していた痕跡を「フィールドサイン」と呼びます。生きものの中でも、野生の哺乳類は一般に警戒心が強く、夜行性のものが多いことから、直接姿を見ることはめったにありません。しかし、そこに暮らしていれば、必ず移動し、ものを食べます。その際、足跡や爪痕がついたり、食べ残しを置いていたり、フンをしていたりします。そうした痕跡によって存在を知ることができるのです。

更に、足跡の向きを見てどこに行ったか、フンの内容物を見てどんなものを食べたかなど、以下のような様々な痕跡から行動を推測することで、その場所に住む哺乳類の暮らしぶりを想像することができるようになります。



狭山丘陵の哺乳類



緑の森博物館の記録や研究報告「狭山丘陵の哺乳類（重昆2011）」にあるのは、下表の7目13科26種です。これは、外来種や一時的な通過記録も含まれます。

目名	科名	種名	目名	科名	種名
真無盲腸目	トガリネズミ科	ニホンジネズミ	偶蹄目	イノシシ科	イノシシ
	モグラ科	ヒミズ アズマモグラ		シカ科	ニホンジカ
翼手目	ヒナコウモリ科	アブラコウモリ ヤマコウモリ ヒナコウモリ	齧歯目	ネズミ科	ハタネズミ カヤネズミ アカネズミ ドブネズミ クマネズミ ハツカネズミ キタリス
	霊長目	オナガザル科			ニホンザル
食肉目	イヌ科	アカギツネ タヌキ	ウサギ科	ニホンノウサギ	
		アライグマ科		アライグマ	
	イタチ科	ニホンイタチ ニホンアナグマ			
	ジャコウネコ科	ハクビシン			

ここで突然ですが、哺乳類クイズ！！

Q1：上の絵の7種の動物の名前は何でしょう？ 表の中から選んでください。

Q2：緑の森博物館の建物の中から見つかったのが、人間市の初記録となった動物は表の26種のうちどれでしょう？

(答えは紙面右下)

代表的なフィールドサインであるフンと足跡の見分け方を紹介します。

フンの見分け方

痕跡の中でも一番よく見かけるものだと思います。大まかな形で以下の二つに分けられます。

- ①ボール型：コロコロとした粒状のフン。草食動物は大体この形。
- ②棒型：細長いフン。肉食動物、雑食動物はこの形。

形状	大きさのめやす	動物の種類	見つけやすい場所
● ボール型	BB弾	ムササビ	太い木の下 ※みどり森では極めてまれ
	たまごボーロ	ニホンノウサギ	林内の広場
	チョコボール	ニホンジカ	林内 ※みどり森では極めてまれ
— 棒型	小指の爪以下	ネズミ類	案内所の周り
	小指より細い	ニホンイタチ	田んぼや湿地の周り 石の上など目立つ所
	小指～親指の太さ	アカギツネ、タヌキ ニホンアナグマ アライグマ、ハクビシン	散策路の道脇
	親指より太い	イノシシ	林内の広場

同じくらいの大きさのフンの特徴

<p>アカギツネ フンの中に毛や骨が含まれている割合が多い</p>	<p>タヌキ 同じ場所に繰り返しフンをする「ためフン」の習性がある</p>
<p>ニホンアナグマ 穴を掘ってフンをする習性がある</p>	<p>ハクビシン 水たまりや用水路の中にフンをする習性がある</p>

実際にみどり森で見つかったフン



イタチとみられるフン
(大谷戸湿地)



タヌキのためフン
(大谷戸湿地)



ニホンノウサギ
(ボランティア活動地)

足跡の見分け方

みどり森周辺では、特に湿地や田んぼの周りが観察しやすい場所。雨の後の水たまり周辺や、雪が降った後の道も観察のチャンス。

みどり森の動物の足跡は、大まかな形で以下の四つに分けられます。

- ①肉球型：ネコの足跡のイラストなど目にする機会の多い形
- ②パー型：特にヒトの手形のように長い指が目立つ形
- ③ひづめ型：2本並んだひづめの跡。後ろに小さなひづめ（副蹄）の跡が残ることもある。
- ④ケンケンパ型：前足が縦、後足が横に並んだ形。

肉球型					
動物の種類	ニホンイタチ	タヌキ	アカギツネ	ハクビシン	アナグマ
特徴	長さ2.5cm、幅2cm くらいの大きさ	足跡がジグザグ	足跡が直線的	全体的に丸い	爪が長く目立つ

パー型			ひづめ型		
動物の種類	アライグマ	リス・ネズミ類	動物の種類	ニホンジカ	イノシシ
特徴	5本指がくっきり 残る	前足は4本指 後足は5本指	特徴	副蹄は残りにくい	副蹄が残しやすい

ケンケンパ型		実際にみどり森で見つかった足跡
動物の種類	ニホンノウサギ	
特徴	後足(長い方)の 足跡は10~13cm	アライグマ (西久保田んぼ)
		ニホンノウサギ (園路)

その他のフィールドサイン

モグラ塚 (園路)	カヤネズミの巣跡 (大谷戸湿地)	アライグマとみられる ネズミ捕食痕 (園路)
モグラが掘った土を 地表に押し出した跡	ヨシの草むらの中に、 葉を丸めて作った巣	アライグマは食べ散 らかすことが多い

他にも様々なフィールドサインがあります。見つけたら種類や行動を推理してみて、発見場所や推理結果をみどり森スタッフにもぜひ教えてください。

© 2015 緑の森博物館 発行 1000円 緑の森博物館 発行 1000円 緑の森博物館 発行 1000円